

産学公連携/コンサルティング

調査研究 臨床研究 共同研究 学術指導 技術指導

メンタルヘルス健康管理(体制・運営) 産業医委嘱 職場環境改善 導入効果測定



産学公連携に関しては、中尾睦宏教授のこれまでの主な実績を紹介しております。

産学公連携_企業との共同研究(EAP導入の有効性評価)

大手IT企業において、EAP導入による有効性(従業員のメンタルヘルス指標の改善)を確認することを目的として 2年間の追跡調査を実施した。その結果、EAP導入前後でメンタルヘルスの評価尺度(HAM-D)において有意な 改善が認められた(自殺念慮、焦燥、精神運動遅延、罪悪感、抑うつ気分において有意な改善)。

調査概要

- ・対象企業:某IT関連企業(従業員約1,000人)
- ・EAP内容:健康指導(年2回)メンタル相談(電話、メール) 産業保健師面談、クリニック受診
- ・評価項目:ハミルトン抑うつ尺度(HAM-D)、職務内容質問票(JCQ)
- · 実施時期:2002年~2008年
- ・追跡期間:2年

調査結果

- ・HAM-Dの総得点が有意に改善
- ・自殺念慮、焦燥、精神運動遅延、罪悪感、抑うつ気分が有意に改善
- ・EAP導入時に自殺念慮(スコア1以上)を示していた22人のうち19人全体の86%が2年後には自殺念慮がなくなった(スコア=0)と報告
- ・自殺を未然に防止(1人)

付記事項 ・EAPに要した費用は400万円(2年間)

(出典) Nakao M, Nishikitani M, Shima S, et al. Int Arch Occup Environ Health 81:151-157, 2007

論文投稿や学会発表(多数)

2005 Vol.9 No.3 141

第9回日本心療内科学会学術大会 シンポジウムN 職場のメンタルヘルス 日本心療内科学会誌 9: 141-145, 2005

情報サービス業従事者における過重労働が 心理・行動・身体面に及ぼす影響

中尾 睦宏12 苅田 香苗2 錦谷まりここ 森田美保子3 辻内 琢也

男性社員85人 (平均年齢28歳)を対象に、過重労働健診を実施した。職業性ストレスは努力 - 報酬不均衡モ デル調査票(ERI)で、精神疲労はPOMS疲労で、うつ状態はハミルトン式抑うつ尺度(HAM-D)で評価した。 また身体疲労をフリッカー検査で、平衡機能を重心動揺計で測定した。対象者全体では、POMS 疲労得点と HAM-D 得点は、「職業の安定性」を除くすべての ERI 項目に有意な相関があった。また、過去6ヵ月の月平均残 業時間が80時間以上でかつ平均睡眠時間が5時間以下であった者 (n=14) は,残業80時間未満かつ睡眠5時間 を超えた者 (n=20) と比べて,重心軌跡外周面積が開眼時・閉眼時ともに有意に大きい値となった。過重労働 の健康影響を評価の際は、精神・身体的疲労度に着目する重要性が示唆された。

Effects of overtime work on psychological, behavioral, and physical conditions in workers at an information service company

Mutsuhiro Nakao12, Kanae Karita2, Mariko Nishikitani2, Eiji Yano3 Mihoko Morita3 and Takuya Tsuji4

In Japan, death from overwork has been the focus of social concern. Extremely long working hours and deprivation of sleep exert vital exhaustion and mood changes, resulting in disease conditions such as depression and ischemic heart disease. Recently special attention is paid to the early detection of the adverse health effects caused by the heavy overtime schedule in Japanese workers. The purpose of this study is to find out medical evidence of the effects of extended working hours among younger workers under forties, and to recommend certain measure for their health assessment and control. Participants in the study were 85 men working at an information service company (mean ages: 28 years old). The critical flicker fusion frequency test and static posturography were monitored. The flicker's

> Key words: 過重労働〔overwork〕,睡眠時間〔sleep hours〕,重心動揺〔postural sway〕 疲労 [fatigue], うつ [depression]

- 1 帝京大学医学部附属病院心療内科〔Department of Psychosomatic Medicine, Teikyo University Hospital〕
- 2 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学 [Department of Hygiene and Public Health, Teikyo University School of Medicine]
- 3 株式会社 CRC ソリューションズ [CRC Solutions Co.]
- 4 早稲田大学人間科学部 [School of Human Sciences, Waseda University]

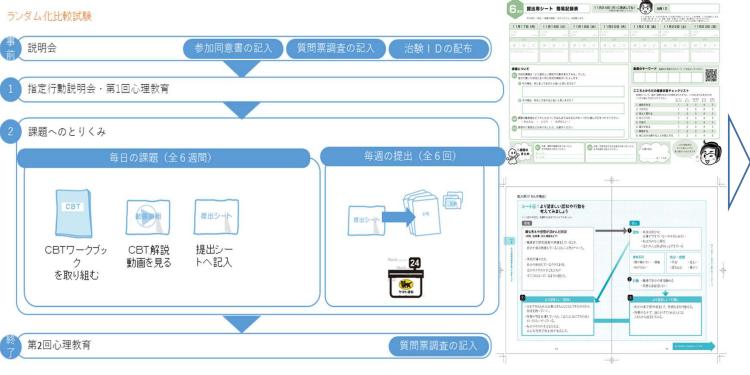
© 昭和大学ストレスマネジメント研究所 2024

産学公連携_企業からの委託事業(ストレスマネジメント指導の介入効果)

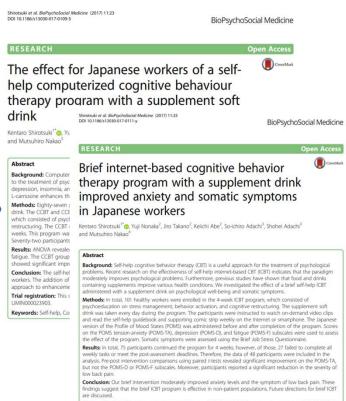
大手飲料メーカーの従業員を対象としてストレスマネジメント指導を実施(オンライン/6週間)し『POMS-TAスコア』を用いて評価した結果、指導を実施したグループにおいて、緊張や不安が有意に改善された。

・実施時期:2002年~2008年

・大手飲料メーカー (従業員96名を対象)



ストレスマネジメント研究の論文2本



© 昭和大学ストレスマネジメント研究所 2024

Keywords: Cognitive behavior therapy. Internet L-campsine Self-help. Workplace

産学公連携_自治体プロジェクトでの実績

広島県呉市データヘルス推進事業(2010~2013年参画)

- ・レセプトのビッグデータ解析による 健康づくり
- ・ビッグデータ解析による生活習慣病予防と 今後の医療展開:呉市モデル



神奈川県未病プロジェクト http://www.pref.kanagawa.jp/div/0121/

(2018~2020年参画)

ヘルスケア・ニューフロンティア推進 本部室

・ (採血等の検査データを用いない) アンケート結果のみから未病スコア を算出するアルゴリズムを研究





現在、神奈川県と新たな連携協定を締結手続き中 『メンタルヘルス向上に関する社会環境構築に関する連携推進』 (2024年度~開始)

加古川市ふるさと創生事業 岡田康裕市長 (元衆議院議員)

2017年度 加古川市ふるさと創生事業 「将棋をいかした健康づくり事業」

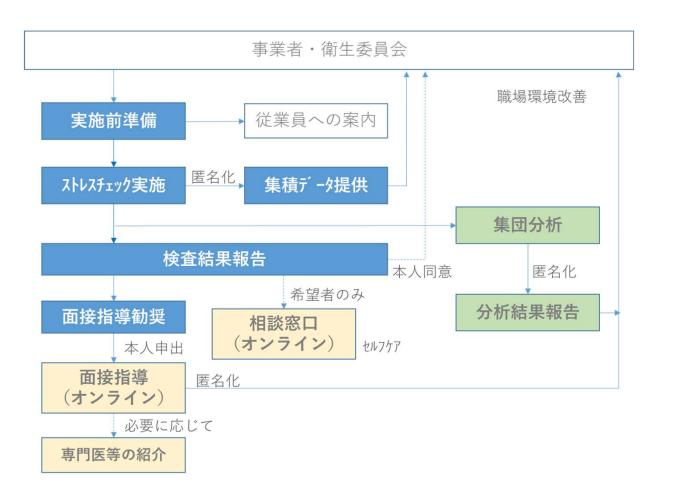
加古川市で普及している「将棋」を指導ツールとして活用 した**CBT(認知行動療法)プログラム**を用いることによ り、高齢者の健康問題への効果を実証する研究



(日本将棋連盟表彰式にて)

© 昭和大学ストレスマネジメント研究所 2024

コンサルティング_産業保健



※料金については個別見積りとなります。

- ・メンタルヘルス健康管理
- ・産業医委嘱
- ・職場巡視、健康教育
- ・メンタルセルフケア指導
- 職場環境改善
- ・ストレスチェック業務
- ・導入効果測定



中尾睦宏所長·教授

産業医実績

- ・企業(5社)
- ・自治体(1)
- ·大学(2)
- ・労災病院(1)

現在委嘱中

- ・企業 (4社)
- ・保険組合(1)

© 昭和大学ストレスマネジメント研究所 2024